



「これからも益々、一致協力して」

歯科医師石櫻会
 会長 田中 健一

光陰矢のごとし、と申しますが月日の経つのは早いもので、忘れられない3.11の悪夢から丸4年となります。被災地では、「復旧は進んでも、未だ復興は道遠し」が、実感ではないでしょうか。

東日本大震災では我々歯科医師石櫻会員はもとより県内外の歯科医師の先生方も官民一体となって必死に奔走したのが昨日のことように思い出されます。

そんな状況下、私たち石櫻会同窓生の櫻井 滋先生(岩手医科大学付属病院 感染症対策室長・准教授/当時)が呼びかけて発足した「いわて感染制御支援チーム」(ICAT)の取り組みは特筆に値するものでした。

岩手県立病院のインフェクシヨンドクター、感染管理認定看護師を中心としたメンバーが加わり岩手県保健福祉部医療推進課が所轄して、官民が一致協力し避難所サーベイランス活動と避難所の衛生支援活動で「感染症予防」で県内各地を走り回ったのです。

その櫻井先生が昨年秋の人事発令で、岩手医科大学 医学部睡眠医療科教授に昇任されました。私たち石櫻会ははじめ我々歯科医師石櫻会会員一同にとりましても、この上ない喜びであります。

アベノミクスの三本の矢の成果が地方に恩恵をもたらす他力本願は、いまだ先が見えないようです。我々会員一同は、これからも歯科医療の研鑽向上に取り組むと共に情報交換を深めて参りたいと存じます。

今後とも会員の皆様方のご健康とご活躍そして益々の一致協力を祈念してご挨拶とさせて戴きます。

交換と友情の輪が広がっていくことを心より祈念申し上げます。

掲載内容

- ・ 巻頭言
- ・ 平成26年度総会報告
- ・ 平成26年度講演会報告
(岩手医大歯周療法学分野教授)
 八重柏 隆 先生
- ・ 石櫻トピックス
- ・ 役員名簿
- ・ 幹事会記録
- ・ 事務局からのお知らせ
- ・ 編集後記



平成26年度総会・講演会・懇親会報告

平成26年6月14日(土)ホテル・メトロポリタン盛岡本館において平成26年度歯科医師石櫻会総会・講演会が26名の会員出席のもと開催された。

総会の前に岩手医科大学歯学部歯周療法学分野教授八重柏隆先生の講演「根分岐部病変の歯周治療」を拝聴した。

総会は、村上修監事の開会の辞、田中健一会長挨拶の後、大久保卓也幹事の司会で岡村賢治先生が議長を務め、熊谷哲也庶務幹事より平成25年度会務報告、赤坂俊彦会計幹事より会計報告、村上修監事より会務・会計内容が適切である旨の監査報告があった。つづいて平成26年度事業計画等について審議され原案通り可決承認され、小山田榮二副会長の閉会の辞にて総会を無事終了した。

その後、熊谷哲也幹事の司会のもと懇親会に入り、田中健一会長挨拶、村井伸吾岩手高校校長の来賓挨拶をいただき、岡田宗二先生の挨拶、乾杯で懇親会に入った。恒例の会員の挨拶、近況報告が楽しく行われ、田中崇一先生の音頭で岩手高校校歌を斉唱した。最後に高橋賢司先生の中締めの挨拶で楽しいひと時を閉めた。

岡田伸男幹事の計らいでディエスオーチョにて2次会が行われた。皆ワインに吞まれつつ八重柏隆教授を囲み歯科医療談議に花を咲かせた。
(文責 赤坂俊彦)



学術講演会



会員懇親会

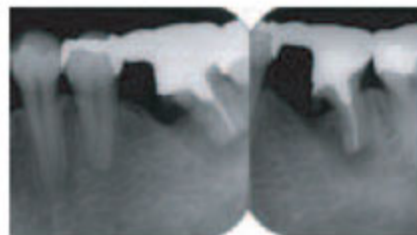


参加者全員での校歌斉唱

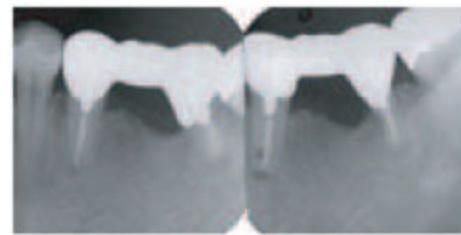


平成26年度講演会 「根分岐部病変の歯周治療」

八重柏 隆 先生
岩手医科大学歯学部
歯科保存学講座歯周療法学分野 教授



初診時 Dental X-P



17年後

現在、歯周病は糖尿病、冠状動脈心疾患、誤嚥性肺炎、早期低体重児出産、肥満、骨粗鬆症、免疫疾患等と関連すると報告されており、Periodontal Medicine (歯周医学)という概念をもとに、医科領域との連携を深めることが求められています。これからは歯周病患者さんの全身的な医学背景を十分に認識、考慮して歯科診療に臨む必要があると思います。

歯周病患者さんの治療計画について相談を受けることが多くあります。その大部分は、1本ないし数本の歯の保存の可否判断ですが、つつい歯周病の進行した特定の歯のみにとらわれがちです。木(1本ずつの歯)を見て森(一口腔)全体を見ないのはよくありません。根分岐部病変を伴う歯についても同様です。根分岐部病変は歯科臨床で比較的多く遭遇する、やっかいな歯周病変です。その診査・診断から最終的な治療方針については、当該歯の主訴やこれまでの経過、担当医の考え方、患者背景により大きく異なると思います。特に根分岐部病変罹患歯は、保存を目的に歯内処置や歯根分離・歯根切除まで施して固定しても、歯根破折や歯周病の再発等で抜歯に至る場合も少なくないため、MI (minimal intervention)の観点から抜髄処置や動揺歯固定のため

の健全歯質の削除をできるだけ避けることが結果的に長期に保存できる場合もあります。

講演では、根分岐部病変を伴う歯周病患者さんの治療計画を立案する際には是非押さえておくべきポイントや、根分岐部病変に罹患した歯に対し、何を診査基準にどのような方針・処置が考えられるか等、具体例を参考に解説しました。また歯周病専門医の立場から生活習慣病としての歯周病と全身疾患との関係、特に歯周病治療によって糖尿病や皮膚疾患が実際に改善した具体的症例も併せてお話ししました。

また、講演では根分岐部病変を伴う歯周病患者さんの治療計画を立案する際には是非押さえておくべきポイントや、根分岐部病変に罹患した歯に対し、何を診査基準にどのような方針・処置が考えられるかを解説しました。

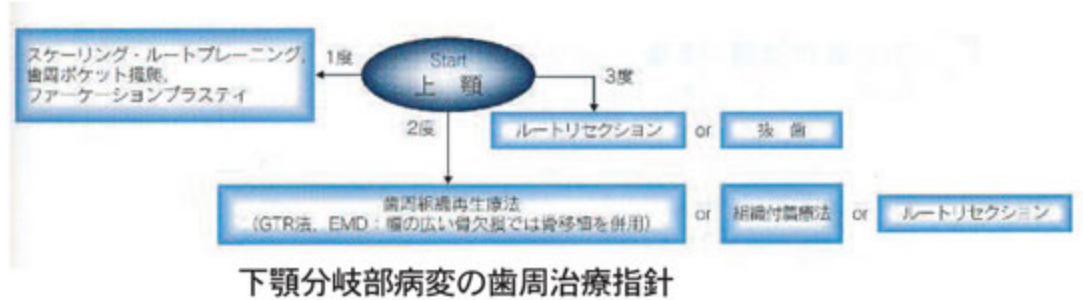
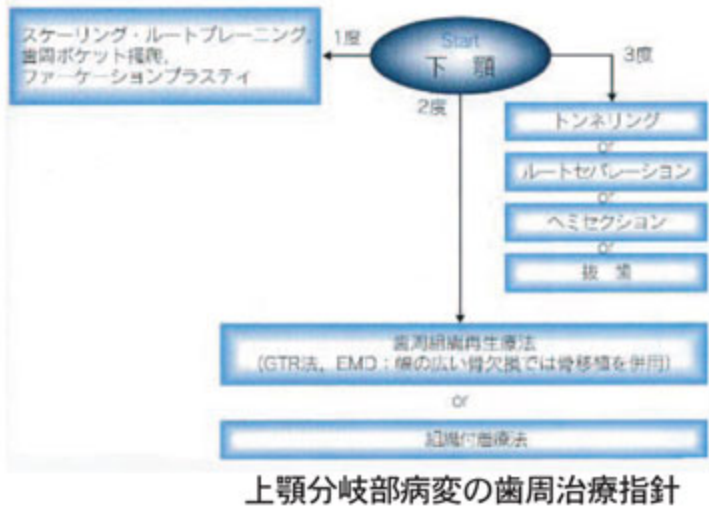
歯周病専門医の立場から生活習慣病としての歯周病と全身疾患との関係、特に歯周病治療によって皮膚疾患が実際に改善した具体的症例も併せてお話しさせていただきました。

今回講演のまとめとして根分岐部の歯周治療で特に重要なことは右記の3項目だと思います。

1. 歯周病治療の原則は、歯を診て、口腔(一口腔単位)を診て、人(物)を診ること。歯周病は基本的に生活習慣病なので、患者自らが生活習慣を(口腔清掃レベル、PCRで20%未満に)変えて、定期管理できることが前提条件になる。口腔清掃が困難な部位である根分岐部病変では、言うまでも無い。

2. 根分岐部病変の進行状況(診査結果)に応じた治療指針等(日本歯周病学会の根分岐部病変の治療指針、添付ファイル参照)に沿って治療を進める。特に正確な診査が重要。
3. 根分岐部病変の治療は「攻める、守る、見守る」パターンがあるので、それぞれメリット、デメリット、リスク(特に破折)があるので、各症例の状況を検討してから治療に取りかかる。破折リスクは無視できないので、出来るだけnaturalな(有髄歯)状態維持に努め、形態修正等の歯質削除や歯内処置(便宜抜髄)、連結固定は必要最小限にとどめる。

以上、皆様の歯科臨床の一助になれば幸いです。(講演者自抄)



平成26年度 歯科医師石櫻会 総会・講演会・懇親会 参加者のご紹介



3列左から：熊谷哲也、近藤 聡、波紫修一、赤坂俊彦、上原 豊、中村行寿、大久保卓也
2列左から：岡田伸男、亀田幸宏、野館孝之、八重樫良昌、高橋賢司、関根 元、西郷史郎、田中崇一
前列左から：村上 修、岡村賢治、八重柏 隆、小山田榮二、村井伸吾、田中健一、岡田宗二、横澤昭平、桂 啓文、道又 元(敬称略)

石櫻トピックス

歴史ある盛岡八幡宮の宮司を新 24 回生の藤原隆鷹氏が務めておられます。取仕切る盛岡八幡宮例大祭(9月13日~16日)の神輿渡御(とぎょ)は延宝9年(1681)に始まりました。嘗ては盛岡城内の鳩森八幡社から新八幡宮(当宮)へ神輿の渡御が行われ、豪華な行列が延々1キロ余続き、約500人の行列で賑わいました。城内の八幡社の神様を神輿にお移しし、渡御によって14、15日両日は当宮泊。16日には再び神輿で八幡社にお帰りいただいていたそうです。(赤坂俊彦 記)



役員名簿

(任期：平成25年4月1日-平成27年3月31日)

- 会 長 田中健一
- 副会長 小山田榮二, 小豆嶋正典
- 幹事長 中野廣一
- 幹 事 上原 豊
- 学術 赤坂俊彦, 近藤 聡
- 会計 熊谷哲也, 大久保卓也, 内田良夫
- 庶務 波紫修一, 高橋賢司
- 名簿 亀田幸宏 (ビデオ撮影, DVD・抄録作成)
- 記録 関 克典, 西郷史郎
- 広報 道又 元, 村田昌明, 佐々木正博
- 地区 岡田伸男 (学術と兼務)
- 学内 岡田宗二, 横澤昭平, 山田康平
- 顧問 村上 修, 池田 健 (敬称略)
- 監 事

幹事会記録 (抜粋)

平成26年度第1回幹事会

日時：平成26年5月30日(金) [於：「味勢」]
 出席者：田中健一会長、小山田榮二副会長、中野廣一幹事長、赤坂俊彦、上原豊、熊谷哲也、西郷史郎、波紫修一、高橋賢司、大久保卓也、岡田伸男の各幹事、村上修、池田健の両監事、岡田宗二顧問(敬称略)

1) 報告事項

(1) 中野幹事長より事業報告：平成26年2月26日幹事会▼4月24日：総会、講演会の案内、会費自動振込み用紙、会報第6号の発送▼会員動向：現会員数124名(学生会員16名含)。

(2) 赤坂会計担当幹事より平成25年度収支決算報告：

＜収入＞収入合計690,112円(内訳：当日会費10,000×32=320,000、当日年会費5,000×19=95,000、振替入金5,000×29=145,000、振込入金5,000×14=70,000、雑収入60,000、決算利息102)

＜支出＞支出合計723,646円(内訳：総会・講演会・懇親会費292,385、講師謝礼50,000、車代30,000、資料作成費等25,490、35周年記念誌印刷費210,525、35周年記念会撮影費20,000、35周年記念誌ビデオ編集・DVD作成費30,000、慶弔費37,631、自動振替手数料6,300)

＜収支＞690,112円－723,646円＝▲33,534円

(3) 波紫名簿担当幹事より会員名簿関連報告：

名簿の保存形式は完全型とし、幹事配布は記念誌型とする。岩手高校からの新卒者情報入手は赤坂幹事(校医)に一任。

2) 審議事項

(1) 総会・記念会等について：6月14日に予定通りホテル・メトロポリタン本館にて総会、記念講演会、懇親会を行う。

(2) 平成26年度講演会について

・柳澤泰先生が病氣療養中のため、八重柏隆先生(岩手医大歯科保存学講座歯周療法学分野教授)に柳澤先生の講演枠(30分)も使って1時間半のご講演をお願いすることとなった。

(3) 平成27年度講演会講師に関する件

・米内正先生(新18回生)と櫻井滋先生(岩手医大医学部呼吸器内科准教授)が推挙され承認された。(文責：中野廣一)

平成26年度第2回幹事会

日時：平成27年2月25日(水) [於：「すしの山留」]
 出席者：田中健一会長、小山田榮二、小豆嶋正典両副会長、中野廣一幹事長、赤坂俊彦、関克典、亀田幸宏、上原豊、熊谷哲也、西郷史郎、大久保卓也の各幹事(敬称略)

1) 報告事項

(1) 中野幹事長より事業報告：6月1日：柳澤泰先生(新31回生)入院見舞金。平成26年6月14日：総会、講演会、懇親会(26名参加)。8月14日：柳澤泰先生(新31回生)ご逝去：会からお香典。11月4日：横澤昭平先生(新12回生)ご母堂様ご逝去：会からお香典(平成27年2月23日書留郵送)。

(2) 赤坂会計担当幹事より平成26年度の会計中間報告：

＜収入＞収入合計532,118円(内訳：当日会費7,000×26=182,000、当日年会費5,000×13=65,000、振替入金5,000×30=150,000、振込入金5,000×25=125,000、雑収入10,000、利息118)

＜支出＞支出合計362,631円(内訳：総会費229,602、講師謝礼60,000、車代10,000、資料作成費・送料35,922、慶弔費15,000、自動振替手数料6,891、岩高バナー広告料5,216)

＜収支＞532,118円－362,631円＝169,487円

(3) 前名簿担当亀田幹事から下記の報告があった：

・志賀元一先生：新入会、新31回生(昭和54年卒)・中村行寿先生：市町村名変更に伴う住所変更・石川琢朗先生：住所等判明新49回生(平成9年卒)

・佐藤裕君：住所等判明新61回生(平成21年卒)〒020-0807岩手県盛岡市加賀野1-11-5・成井昭悟君：住所等判明新61回生(平成21年卒)岩手医科大学歯学部4年〒024-0093岩手県北上市石町2-4-13・柳澤泰先生：物故。現在の会員総数は124名である。25年卒以降の歯学部入学者の情報は27年の春の大学合格者の情報とともに追跡の予定である。

2) 審議事項

(1) 会長、監事選挙について：4月告示、5月31締切(事務局郵送)
 (2) 平成27年度講演会講師に関する件(確認)

・米内正先生(新18回生)と櫻井滋先生(岩手医大医学部睡眠医療学科教授)

(3) 平成28年度講演会講師に関する件

・亀田幸宏先生(新35回生)と山田公一氏(市民の歴史探究館代表)(新22回生)

(4) 櫻井滋先生の教授就任を祝う会(仮称)に関する件

・平成27年度総会・講演会終了後に開催。(文責：中野廣一)

事務局からのお知らせ

■ 会計からのお願い

年会費のご納入が未だでございましたら、下記口座へ5,000円のお振込みをお願いいたします。銀行口座からの自動振替制度のご利用が便利です。事務業務も大変簡素化され助かりますので、お手続きを宜しくお願いいたします。

■ 「銀行振込み口座」

東北銀行 大通支店(支店コード103)

(普通) 3162801 歯科医師石桜会 会計 赤坂俊彦

■ 「口座振替依頼書」のお手続きの問合せ・送付先

〒020-0016 盛岡市那須川町29-2 赤坂病院 歯科

歯科医師石桜会 会計 赤坂俊彦 宛

TEL：019-624-1225 FAX：019-623-1825

■ みなさまの声をお寄せ下さい

本会についてのご意見・ご要望、会員名簿のご訂正や名簿に掲載されていない岩手中高卒の歯科医師情報、会員のお悔やみ情報などがありましたら事務局までお知らせ下さい。

歯科医師石桜会事務局

〒020-0837 盛岡市津志田町2-1-70

くまがい歯科クリニック内

TEL / FAX：019-632-1188

E-mail: tetsu-tetsu@wish.ocn.ne.jp

編集後記

昨年7月、嬉しいニュースが飛び込んでまいりました。岩手高校新26回生(昭和59年卒)の櫻井滋先生が岩手医科大学医学部睡眠医療学科の初代教授に就任されたのです。本会の小豆嶋正典副会長が平成16年に岩手医科大学歯学部歯科放射線学講座の教授に就任されて以来の快挙です。櫻井先生は、岩手県住田町のご出身。7代続く医者の家系で育られました。山中順三元校長のご親戚ときいております。先生は睡眠時無呼吸症候群を我が国に知らしめたパイオニア的存在で、この分野における日本の臨床研究をリードする第一人者でもあります。本年度の講演会(6/20)でもお話しいただきますが、講演会後に「櫻井滋先生の教授就任祝賀会」を企画しておりますので多数のご参加をお願いいたします。(中野廣一 記)